

令和5年度

# 職員採用



「レッド」 三輪康介 2021パラアートTOKYO入選作品

ここで暮らしている  
わたしも、あなたも

# 経営理念

私たちは、すべての利用者が人として人らしく尊ばれ、  
自らの意思に基づいた生活を地域社会で  
営むことができるよう支援します。



## 意欲あふれる皆さんをお待ちしています。

当法人は、調布市の100%出資により設立された法人です。障害福祉と子育て支援を事業の両輪として、先駆的な取り組みを調布市からの受託を受け実施しています。

障害福祉事業においては、入所施設をはじめ通所施設、地域での生活を支えるグループホームや地域での生活や就労支援を行っている事業所を持ち、就学前の子どもの療育にも取り組んでいます。こういった事業を推進しているのは障害のある方のライフステージ全般に関わり、寄り添って支援していくという大きな方針を持っているからです。

子育て支援事業では、調布市子ども家庭支援センターすこやかを中心に、子育てをしやすい環境を整えるための多様なサービスを展開しています。児童虐待の防止にあたっては、児童相談所や市の関連セクションとも密接な関係を持ち支援しています。

平成27年4月より新たに学童クラブとユーフォーを受託し、放課後における遊び場を提供するとともに、安全に安心して過ごすことができるよう児童の健全な育成を支援しています。

どの仕事も決して楽な仕事ではありませんが、子どもたちや利用者の皆さんの笑顔を見ると、多くの人々の日常を支えているというやりがいを感じます。

当法人は「人材」を何よりも大切な「人財」として捉え、職員一人ひとりの自己成長・自己実現を支援しこれからも福祉の拡充に取り組んでまいります。

理事長  
小林 一三



## 待遇・福利厚生

◇調布市の監理団体として、障害福祉・児童福祉にかかわる業務を担っています。

◇職員の待遇は東京都職員に準じています。

初任給 217,400円 ～ 227,400円（大卒新規採用者の場合）

※上記金額は、本俸+特殊業務手当の合計額。

※職歴加算あり 福祉施設等における正規職員としての経験年数×下記定期昇給額  
その他の正規職員としての経験年数×下記定期昇給額×50%

手当等 期末・勤勉手当 令和3年度実績4.45ヶ月分

住居手当 賃貸住宅居住の世帯主を対象。34歳まで 15,000円

扶養手当 子（～15歳）9,000円、子（16～22歳）13,000円、  
その他扶養親族等6,000円

資格手当 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士、公認心理師 6,200円

通勤手当 交通機関使用の場合実費相当額、その他自転車等交通用具使用時など

定期昇給 58歳まで年次定期昇給あり

～30歳代平均6～9千円程度 40歳代～平均6千円程度

※それぞれ年齢については、その年齢に達する日を含む年度が対象）

勤務時間 週40時間勤務。施設によってはシフト制による交代勤務のところもあり。

休日 年間休日数120日程度。曜日等は施設により異なる。

休暇等 年次有給休暇（入社日から付与。積立保存の仕組みあり（勤続5年以上の方から使用可））、  
夏季冬季休暇、子の看護休暇、介護休暇（以上時間単位の取得可）、出産休暇、育児休業、  
出産支援休暇等。その他にも、リフレッシュ休暇（勤続10年、20年、30年到達時に年数に  
応じて休暇を付与）、ボランティア休暇等、規程で定められた各種休暇・休業制度あり。

健康管理 定期健康診断や予防接種のほか、保健師による健康づくりのための面談も実施。

保険・年金など 健康保険（協会けんぽ）、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、施設損害補償  
（職員の労災上乗せ、傷害事故補償、感染症罹患事故補償含む）及び、従事者  
共済会・福祉医療機構による退職金制度に加入。

職員互助会 職員同士の親睦などを目的に、職員互助会が設置されています。慶弔給付金や  
健診の補助・会員同士の親睦の補助などを行っています。  
有志によるサークルも設立され、活発に活動しています！そのほか、ソウエル  
クラブ（福利厚生センター）による各種サービスを利用できます。

# 障害福祉サービス

**なごみ（調布市知的障害者援護施設）**（施設入所支援・生活介護） 定員60名  
（短期入所・ショートステイ） 定員12名

開かれた生活環境やメリハリのある暮らしを提供します。また、地域で暮らす障害のある方が一時的にサービスを必要とした場合、短期間生活の場として利用できます。レスパイトや施設の体験としての利用も可能です。



**そよかぜ（調布市知的障害者援護施設）**（生活介護） 定員30名

普段の家庭生活や質の高い地域生活を送るためのスキルアップを目指す、知的障害のある方の通所施設です。



**すまいる（調布市知的障害者援護施設）**（就労継続B） 定員16名（生活介護） 16名

働く意欲を持ち、仕事を通じて社会参加・自立をめざす方を対象に、パンの製造・販売を中心とした事業を展開しています。



< すまいる分室 >

（就労移行支援） 定員7名 一般企業や特例子会社への就労を目指す方を対象に有期限で、就労準備への訓練を行います。

（就労定着支援） 定員なし 職場への定着を図るために、就労後6か月以上経過した利用者を対象に面談や職場訪問を行います。

**調布市デイセンターまなびや**（生活介護） 定員32名 ※うち重心通所10名（日帰介護） 1名

重度重複障害のある方の通所施設です。地域で健康に豊かな生活を送れるようにリハビリや日中活動などさまざまなサービスを提供しています。



グループホームみつばち

< グループホーム >

◆みつばち ◆深大寺みつばち ◆委託型緊急一時保護事業

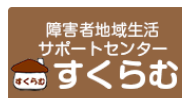
重度重複障害のある方が家庭から自立し、安全で快適な地域生活が送れるよう支援しています。

**すくらむ（障害者地域生活サポートセンター）**

< グループホーム >

◆すてっぷ(体験型) ◆じょい ◆ふれんず ◆小島町ふれんず ◆ちゃれんじ(体験型)

知的障害のある方が家庭から自立し、市民として安全で快適な地域生活が送れるよう支援しています。都内でも数少ない体験型のグループホームもあります。



**じゃんぶ**

< グループホーム >

◆じゃんぶ ◆布田北じゃんぶ ◆富士見町じゃんぶ ◆下石原じゃんぶ ◆調布ヶ丘じゃんぶ

知的障害のある方が家庭から自立し、市民として安全で快適な地域生活が送れるよう支援しています。

**ちょうふだぞう（調布市障害者地域生活・就労支援センター）**

障害のある方が地域生活を送るため、就労面と生活面の一体的支援を行なっています。

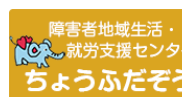
就労支援 ◆障害者就労支援事業

生活支援 ◆地域活動支援センター事業 ◆移動支援事業

◆特定相談支援・一般相談支援事業 ◆障害者地域自立支援協議会

◆ほっとれ〜る（ティールーム）の運営

◆障害者を地域で支える体制づくりモデル事業（あんしんネット）



# 児童サービス

## あゆみ（調布市子ども発達センター通園事業）

◆児童発達支援事業 定員40名

発達に遅れやかたよりのある3～5歳児を対象に通園による療育を行います。  
遊びを通して社会的能力、認知能力、運動・活動能力の育ちを支援します。



◆緊急一時養護事業・リフレッシュ支援事業 平日2名・休日1名 1歳6ヵ月～小学生

## すこやか（調布市子ども家庭支援センター）

子どもと家庭に関わる多様な事業を行うことにより、子どもの健やかな成長を支援します。

◆施設開放事業

◆トワイライトステイ事業

◆すこやか保育事業

◆乳児交流事業

◆ファミリーサポートセンター事業

◆エンゼル大学

◆養育支援訪問事業

◆幼児交流事業

◆ショートステイ事業

◆利用者支援事業

◆子ども家庭総合相談事業



## 学童クラブ・ユーフォー（調布市学童クラブ・調布市放課後子供教室事業）

小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図ります。

◆第一小学校学童クラブ・ユーフォー

◆かしの学童クラブ

◆八雲台小学校ユーフォー

◆はづき学童クラブ

◆かみふだ第1・第2学童クラブ

◆柏野小学校ユーフォー

## 国領児童館学童クラブ

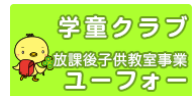
小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図ります。

◆第二小学校学童クラブ・ユーフォー

◆国領児童館学童クラブ

◆国領小学校学童クラブ・ユーフォー

◆あおぞら学童クラブ



## 調布市市立ゆずのき学童クラブ 定員40名 ※うち肢体不自由児5名 知的障害児等10名

定員のうち障害児の人数が多いこと、障害児については車両送迎を行うこと、他の学童クラブでは受け入れが難しい児童を優先すること等、障害児の利用について特徴を有する学童クラブです。全ての利用児が、ともに違いを認め合いながら、仲間となって過ごしていけるよう育成を行います。

# 先輩職員メッセージ

なごみは知的障害の方の入所施設であり、ご利用者の生活の場です。「おはようございます」から「おやすみなさい」まで1日の生活を職員がチームとなって見届けられることにやりがいを感じています。日々の小さな変化に気づき、安心して暮らせる場を提供するために支援方法を模索することは難しいこともありますが、ご利用者の笑顔を見るたびに元気をもらい、自分の活力に繋がっています。



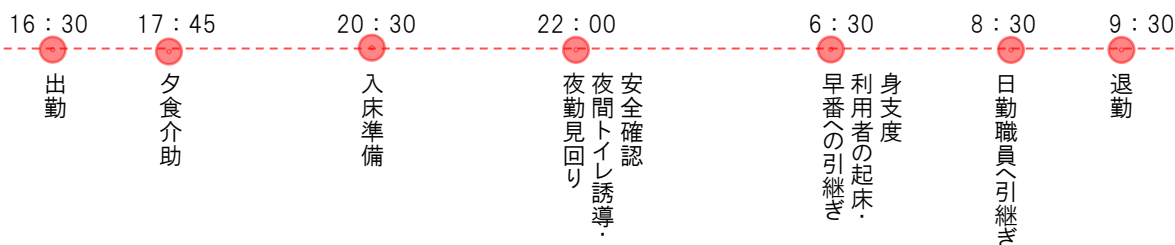
調布市知的障害者援護施設  
なごみ

**渡邊 あずみ**

(令和元年度採用 福祉職)

夜勤は大変ですが、夜勤明けの楽しみを用意しておいて勤務が終了したら思いっきり自分を甘やかすと決めて頑張っています。シフト制のため気持ちの切り替えもしやすく、休みをうまく組み合わせてリフレッシュを図りながら充実した日々を送っています。

1日のながれ(夜勤の例)



デイセンターまなびやは、重症心身障害者の通所施設です。楽しみや、やりがいのある生活を支援できるよう、外出・レクリエーション・創作活動・音楽療法などの活動や季節の行事などを実施に加え、リハビリや入浴も実施しています。また、医療的ケアの必要な方も利用されています。必要に応じて、喀痰吸引、吸入、経管栄養等を行い、安心、安全に通所していただける施設を目指しています。



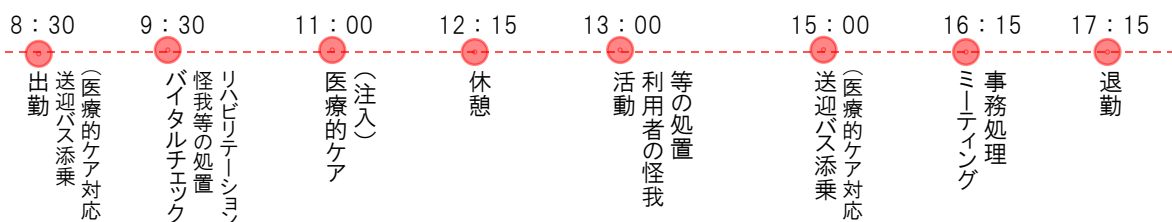
調布市デイセンターまなびや

**福居 優**

(令和3年度採用 看護職)

私は今まで病院に勤めていましたが、子育てとの両立を考え転職しました。土日祝日はお休み、平日に行われる子どもの学校行事などには時間休を使って参加しています。子どもと過ごす時間が増えて、仕事にも前向きに取り組むことができました。子育てと仕事の両立がうまくできていると感じます。

1日のながれ



# 先輩職員メッセージ

あゆみでは、専門的支援を必要とする3～5歳児の療育を行っています。“遊び”を通して、子どもたちの発達を支援するお仕事です。今必要な支援は何かと、常にチームで子どもたちのことを考えていけるように、職員間の連携をととても大切にしています。こんなことができるようになった、こんなかわいい姿が見れたと、日々子どもたちの成長を保護者の方と一緒に喜べる瞬間が、この仕事のやりがいになっています。



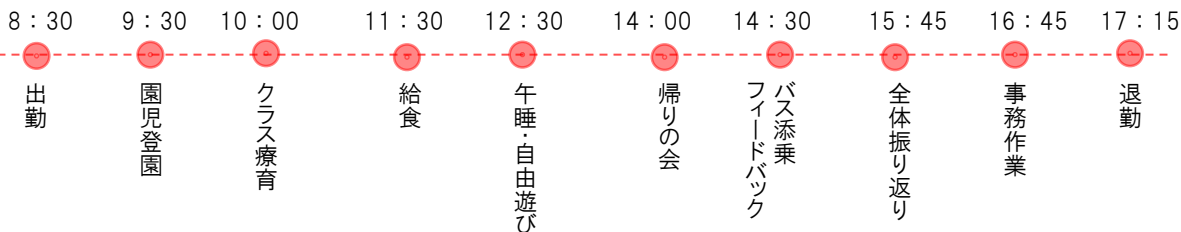
調布市子ども発達センター  
通園事業あゆみ

**南 貴美子**

(平成21年度採用 福祉職)

あゆみで勤務する中で3人の子どもを授かりました。職員の皆さんのフォローのおかげで、子育てをしながらでもなんとか仕事を続けることができています。事業団には、現役の子育てママ、パパはもちろん、子育ての先輩もたくさんいます。私も先輩ママさんからのあたたかい声掛けに助けられたことがたくさんあります。これからは、後輩ママさんの助けになるような存在でいたいと思っています。

1日のながれ



すこやかでは、妊娠期からの子育て支援を行っています。母子健康手帳の交付、産前・産後のヘルパー、乳幼児の交流、一時預かり、子育て相談など様々な角度から子育て世帯をサポートしています。館内にあるひろばは毎日多くの親子連れでにぎわっています。私の所属する一時預かり事業では、預かりの申請業務から保育まで、親子と関わることができ、日々子どもたちの成長や親子の笑顔などに触れることができます。仕事は先輩から優しく丁寧に教えてもらい、質問しやすい環境でとてもやりがいのある仕事です。



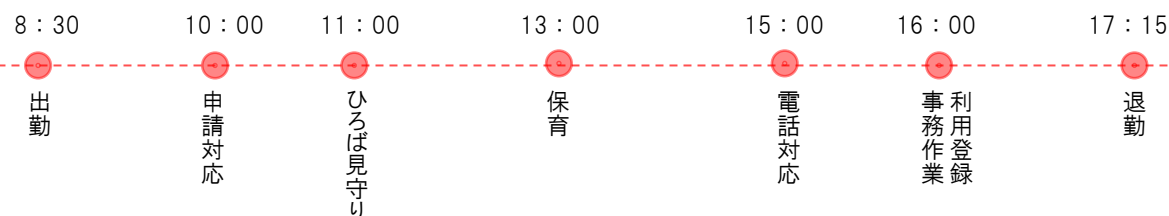
調布市子ども家庭支援センター  
すこやか

**今 博史**

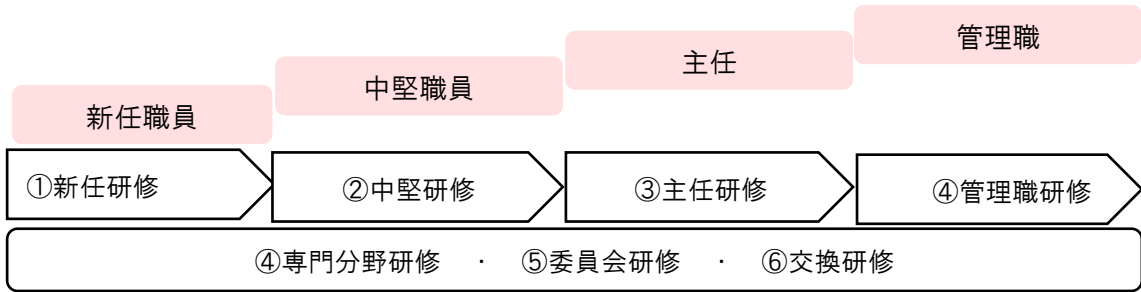
(平成29年度採用 福祉職)

仕事後には、サッカーやフットサル、スポーツ観戦等をして過ごしています。すこやかでは、最近、親子に向けた動画などを配信していて、たまに出演しています。『母に捧げるすこロック』ではエアドラムとして出演しています。

1日のながれ (日勤の例)



# キャリアパス・研修制度



- ①新任研修      ～事業団職員としての意識づけ・基本事項の習得～  
    実施例…新人研修、ビジネスマナー、OJT等
- ②中堅研修      ～職場におけるリーダーシップとチームワーク～  
    実施例…リーダーシップ、コミュニケーション能力等
- ③主任研修      ～職場をまとめ、事業団全体への運営に参画する～  
    実施例…部下指導育成、業務改善等
- ④専門分野研修      ～専門性の向上と主体的なキャリア構築～  
    実施例…てんかん講座、自閉症講座、エピペン投与シミュレーション等
- ⑤委員会研修      ～事業団内の各委員会主催の多様な研修内容～  
    実施例…コンプライアンス、メンタルヘルス、リスクマネジメント等
- ⑥交換研修      ～各施設間と交流を持ち、相互の情報交換～  
    実施例…事業団内施設、調布市内福祉施設、都内福祉施設等

※その他、外部の研修も多数受講しています  
また、自発的な研修の参加承認・費用の一部助成の仕組みもあります（勤務成績が良好な勤続3年以上の職員を対象）。

## Q & A

- Q. 配属先はどのように決まりますか？
- A. 配属先も人事異動も、本人の希望を考慮した上で職員の配置数やバランス、その方の持っている資質などを考え決定します。
- Q. 受験資格はありますか？
- A. 福祉関連の資格は必要条件とはしていませんが、社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・公認心理師を取得している職員には資格手当を支給しています。  
必要な受験資格は「普通自動車免許（採用までに取得見込も可）」のみです。
- Q. 資格取得に対する支援はありますか？
- A. 社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・公認心理師資格取得のための通信教育や講習会の費用への補助金があり、資格取得を目指す職員が多数います。
- Q. 福祉職に関する経験はありませんが、大丈夫でしょうか？
- A. 経験豊富な先輩職員がOJT担当として指導する体制があり、安心して勤務・相談ができる職場環境です。
- Q. 見学は可能ですか？
- A. コロナ禍である事を鑑みまして、調整のうえ実施させていただきます。本部事務局若しくは見学希望の施設までご連絡下さい。また、Zoomを使用したオンライン説明会も実施しております（開催の際には、ホームページに詳細を掲載いたします）。

## 問い合わせ



2022年11月発行  
〒182-0032 東京都調布市西町290-4  
本部事務局 採用担当  
tel: 042-481-7493

【ホームページ】 <https://jigyodan-chofu.com/>

